

## 平成 21 年度京都市高齢者福祉関連予算の概要等について

## 1 高齢者福祉関連予算の規模

(単位：千円)

一般会計（当初予算）	平成 20 年度	平成 21 年度	差引	伸び率
高齢者福祉対策	38,695,621	39,098,098	402,477	1.0%

(単位：千円)

特別会計（当初予算）	平成 20 年度	平成 21 年度	差引	伸び率
介護保険事業	87,858,000	91,947,000	4,089,000	4.7%
老人保健	15,045,000	51,000	△14,994,000	△99.7%
後期高齢者医療	16,446,000	15,536,000	△910,000	△5.5%

## 2 プランに掲げた施策・事業項目に係る主な予算措置

## (1) 重点課題 1：認知症をはじめとする要援護高齢者及びその家族の生活支援

## &lt;取組方針&gt;

要援護高齢者及びその家族の自立した生活を支援するため、地域の特性を踏まえて、ニーズに対応した介護サービスを量と質の面から確保するとともに、在宅生活を総合的に支援するという観点から、介護保険以外の保健福祉サービスについても引き続き充実に努めます。また、療養病床の再編成への対応についても、医療・介護の必要な方に、適切なサービスが提供できるよう取り組んでいきます。

また、認知症高齢者が住み慣れた地域で可能な限り在宅生活を継続できるよう、認知症についての正しい理解の普及、原因となる疾患の予防、早期発見、治療、相談体制の充実、認知症高齢者を介護する家族への支援、高齢者虐待防止をはじめとした高齢者の権利擁護対策等多様な側面から取組を進めます。

事業名等	内容
特別養護老人ホーム建設 助成（新規含む） <370,100 千円>	<p>特別養護老人ホームを整備し、日常生活で常に介護が必要で、在宅で生活することが困難な方に、日常生活の介護、健康管理などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「第二洛東園（仮称）」（新設） 定員 72人（うち、短期入所9人併設） 場所 東山区上新シ町</li> <li>○ 「西陣（仮称）」（継続） 定員 80人 場所 北区大宮西山ノ前町</li> <li>○ 「まほろば」（継続） 定員 50人→90人（増床40人分） 場所 西京区大原野上羽町</li> </ul>

## (2) 重点課題2：総合的な介護予防の推進

### <取組方針>

高齢者が要介護状態になることを可能な限り予防するとともに、要介護状態になっても状態が悪化しないよう維持・改善を図るため、より一層の介護予防に関する知識・情報の普及と啓発に努めます。

また、地域包括支援センターを中心とした介護予防ケアマネジメントの体制を充実するとともに、介護予防事業対象者の把握や、対象者が個々の状況に応じて日常生活の中で自ら取り組めるようなサービス提供を行うなど、介護予防を総合的に推進します。

事業名等	内容
地域介護予防推進事業 (新規含む) ＜364,853千円＞ (うち、北区脳トレ・筋 トレいきいき教室分) (1,200千円)	介護予防事業の中心となる各区地域介護予防推進センター等において特定高齢者施策として、「運動器の機能向上」「栄養改善」「口腔機能の向上」等に係る事業を実施するとともに、一般高齢者施策として、介護予防に関する知識の普及・啓発や地域における介護予防に資する事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"><li>○ 伏見区内に地域介護予防推進センターを増設(充実) 2支所を内包し、連携すべき地域包括支援センターは11箇所(市平均の2倍)と、地理的にも不便であることから、拠点となるセンターを1箇所増設しサービスの充実を図る。</li><li>○ 各区地域介護予防推進センター職員の体制を充実(充実) 本事業については専任職員(事務)1名、兼務職員(専門職)1名で実施しているが、専門職員を兼務から専任とし、複数配置とすることでサービスの質の向上を図る。</li><li>○ 北区脳トレ・筋トレいきいき教室(新規) 脳トレ(音読と計算等の体操)と筋トレ(簡単な筋力トレーニング)を行うことにより、介護予防及び運動機能の向上を図る(北区でモデル実施)</li></ul>

## (3) 重点課題3：健康増進・生きがいつくりの推進

### <取組方針>

市民が、家庭や地域において、心身ともに健やかに高齢期を過ごせるよう、生涯を通じた健康づくりの支援や情報発信を進めます。

また、高齢者が知識や経験、特技等を生かしながら、意欲や関心をもって社会活動に参加し、生きがいを感じることができるよう、地域の資源を活用した多様な活動の場づくりや環境整備、情報提供等を充実していきます。

事業名等	内容
知恵シルバーセンター (仮称) 運営事業 (新規) <12,000 千円>	退職期を迎えた団塊の世代をはじめ、元気な高齢者の持つ知恵や経験・技能を社会の様々な分野に生かす「知恵シルバーセンター (仮称)」を整備し、高齢者が生きがいを持って社会参加できる場を提供することで、高齢者が生き生きと活躍する「お年寄り元気モデル都市」の構築を目指す。  <対象者> 京都市内在住の60歳以上の方  <委託先> 社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

(4) 重点課題4：地域における総合的・継続的な支援体制の整備

<p>&lt;取組方針&gt;</p> <p>認知症高齢者やひとり暮らし高齢者等が増加する中、住み慣れた地域での生活の継続を支援するため、地域密着型サービスの普及・啓発と基盤整備の更なる推進等により、日常生活圏域を基本としたサービス提供体制の整備を図ります。</p> <p>また、各種サービス提供機関、地域住民による自主的な活動等との連携を図り、地域全体で高齢者を見守り支えるためのネットワークづくりを進めます。</p>
--

事業名等	内容
小規模多機能型居宅介護 拠点 (新規) <15,000 千円>	小規模多機能型居宅介護拠点を整備し、利用者の心身の状態や希望などに応じて、「通い」を中心に「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供する。  ○「小川 (仮称)」 (夜間対応型訪問介護ステーション併設) 場所 上京区小川通一条上る草堂町
夜間対応型訪問介護ステーション建設助成 (新規) <35,000 千円>	夜間対応型訪問介護ステーションを整備し、24時間安心して在宅での生活ができるように、夜間の定期的な巡回訪問や、利用者などからの連絡に応じた随時訪問を組み合わせた、身のまわりの援助を行う。  ○「小川 (仮称)」 (夜間対応型訪問介護ステーション併設) 場所 上京区小川通一条上る草堂町

<p>認知症高齢者グループホーム等スプリンクラー設備整備助成（新規）          &lt;31,000 千円&gt;</p>	<p>消防法施行令の改正に伴い、スプリンクラーの設置が義務付けられる認知症高齢者グループホーム等の既存施設に対して助成を行う。</p> <p>&lt;対象施設&gt;          延床面積 275 m<sup>2</sup>以上 1,000 m<sup>2</sup>未満の小規模福祉施設</p> <p>&lt;助成単価&gt;          延床面積 1 m<sup>2</sup>あたり 9 千円</p>
<p>一人暮らしお年寄りサポーター養成事業（新規）          &lt;3,000 千円&gt;</p>	<p>高齢者福祉に関する養成研修を受けた市民を「一人暮らしお年寄りサポーター」として登録し、高齢者への目配りを中心としたボランティア活動の役割を担っていただく。</p> <p>また、老人福祉員や地域包括支援センター等の関係機関と連携することにより、一人暮らし高齢者が地域で安心して健やかに暮らせる体制を整備する。</p>

(5) 重点課題 5：介護保険事業の適正かつ円滑な運営

<取組方針>

介護保険事業を適正かつ円滑に運営していくため、関係団体等との連携の下、ケアマネジメントや介護サービスの質の向上に取り組むとともに、保険給付の適正化を図ります。

また、介護分野における人材不足等を改善していくため、安定的な人材の確保及び育成する仕組みづくりに努めます。

事業名等	内 容
<p>京（みやこ）・福祉の研修情報ネット（新規）          &lt;5,000 千円&gt;</p>	<p>福祉に関する研修内容を広くインターネット上に掲載するなどネットシステムを構築することにより、介護・福祉サービスの理解の促進及び人材育成を行う。</p> <p>&lt;委託先&gt;          社会福祉法人 京都市社会福祉協議会</p>
<p>介護給付費適正化事業          &lt;12,181 千円&gt;</p>	<p>介護保険制度を安定的に運営していくため、適正な執行の確保が極めて重要であることから、以下の事業を引き続き推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認定調査状況チェック</li> <li>○ ケアプランの点検</li> <li>○ 住宅改修等の点検（21 年度に実施）</li> <li>○ 医療情報との突合・縦覧点検</li> <li>○ 介護給付費通知</li> </ul>

(6) 重点課題6：誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

<取組方針>

すべての世代が理解し合い、助け合える世代間の連帯と活力に満ちた共生社会を形成していくため、さまざまな機会を活用して、高齢世代と若年世代とが交流し、世代間相互の理解を深められるよう取り組んでいきます。

また、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活ができるよう、福祉施策と住宅施策やまちづくり政策が融合し、連携を更に深め、ハード・ソフトの両面から高齢者の生活環境づくりに取り組みます。

事業名等	内 容
いきいきお年寄りのネットワークづくり <287,228千円> (老人福祉センター運営事業、市民すこやかフェア開催事業の事業費の合計)	長寿社会への理解と認識を深めるため、老人福祉センターをはじめとした高齢者福祉施設と児童福祉施設などとの交流を促進し、各施設間でネットワークづくりを進めることで高齢者と子どもたちの世代を超えた交流の活性化を図る。 また、親、子、孫の三世代が同居、又は離れて暮らしていても互いを訪問し、毎日を楽しくいきいきと過ごしているなど心温まる交流事例を募集し、「市民すこやかフェア」において「仲良し三世代」として表彰するなど、広く市民に対し、世代間交流の促進を図る。

3 介護保険事業特別会計予算の概要

(単位：千円)

項 目	20年度当初予算額	21年度当初予算額	差 引
第1号被保険者数	315,121人	325,429人	10,308人
要介護認定者数	56,878人	59,460人	2,582人
保険給付費等	82,225,895	86,670,624	4,444,729
地域支援事業費	2,496,571	2,429,485	△ 67,086
事務費その他	3,135,534	2,846,891	△ 288,643
合 計	87,858,000	91,947,000	4,089,000